

自由席です

情報リテラシー

第9回 Web技術 HTML基本要素

メディア情報コース
平居 悠（ひらい ゆたか）

到達目標

正しいコンピュータ
リテラシーの修得

前回

第1回	4月13日	計算機の仕組みと基本操作・ネットワーク使用のモラル
第2回	4月20日	電子メール基本概念と操作方法・注意点
第3回	4月27日	電子メール操作と概念の確認
第4回	5月11日	文字入力とタイピング練習
第5回	5月18日	ワードプロセッサ 基本操作
第6回	5月25日	ワードプロセッサ スタイル・書式
第7回	6月 1日	ワードプロセッサ 図表・相互参照
第8回	6月 8日	ワードプロセッサ 成果確認
第9回	6月15日	Web技術 HTML 基本要素
第10回	6月22日	Web技術 HTML 箇条書・表・その他の要素
第11回	6月29日	Web技術 HTML CSS (ルールの表記法とプロパティ)
第12回	7月 6日	Web技術 CSS (classの利用・アクセシビリティ)
第13回	7月13日	総合課題作成

前回の目標

LibreOffice Writerを用いて形式の整った報告書を作成できるようにする。

前回学んだことー報告書の作成

章見出しへの番号づけ

章見出しの文字サイズ、フォントの変更

本文のインデント調整

図の追加

目次の作成

ページ番号の挿入

章見出しへの番号づけ

「見出し1」と「見出し2」にそれぞれ「1」や「1.1」のような番号をつける。

メニューバー[ツール]→[章番号付け]を選択して番号付けダイアログを出す。

見出し1の文字サイズ、フォントの変更

「はじめに」にカーソルを合わせ
[スタイル]→[スタイルの編集]から

ファミリー：「**IPAゴシック**」

サイズ：「**16 pt**」

と設定する

本文のインデント調整

1. 本文の任意の箇所にカーソルを合わせ、[スタイル]で「本文」が選択されていることを確認する
2. [スタイル]→[スタイルの編集]→[インデントと間隔]を選択する
3. 「インデント」：「テキストの前」を「1文字」にし、「自動」にチェックを入れてOKをクリック

図の追加

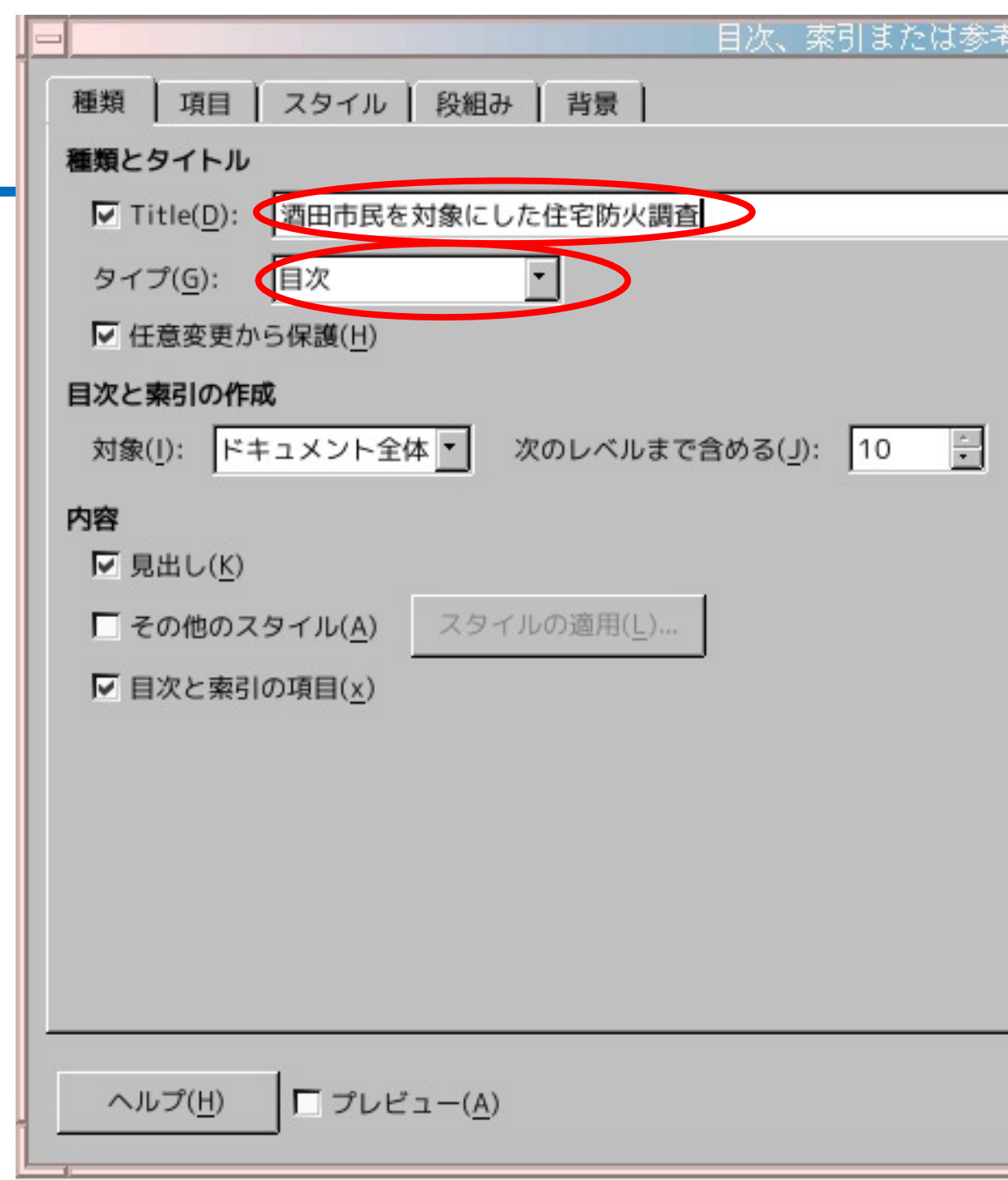
表 1 の下に以下の文章を追加し、その下にダウンロードした図を挿入する。

住宅用火災警報器について設置義務化を知らない人の割合を求めると全体で**38.1%**となった。属性別に見ると、女性や若年者の方が知らない割合が多かった（**図 1**）。

直接入力せず、**[相互参照]**で設定

目次の作成

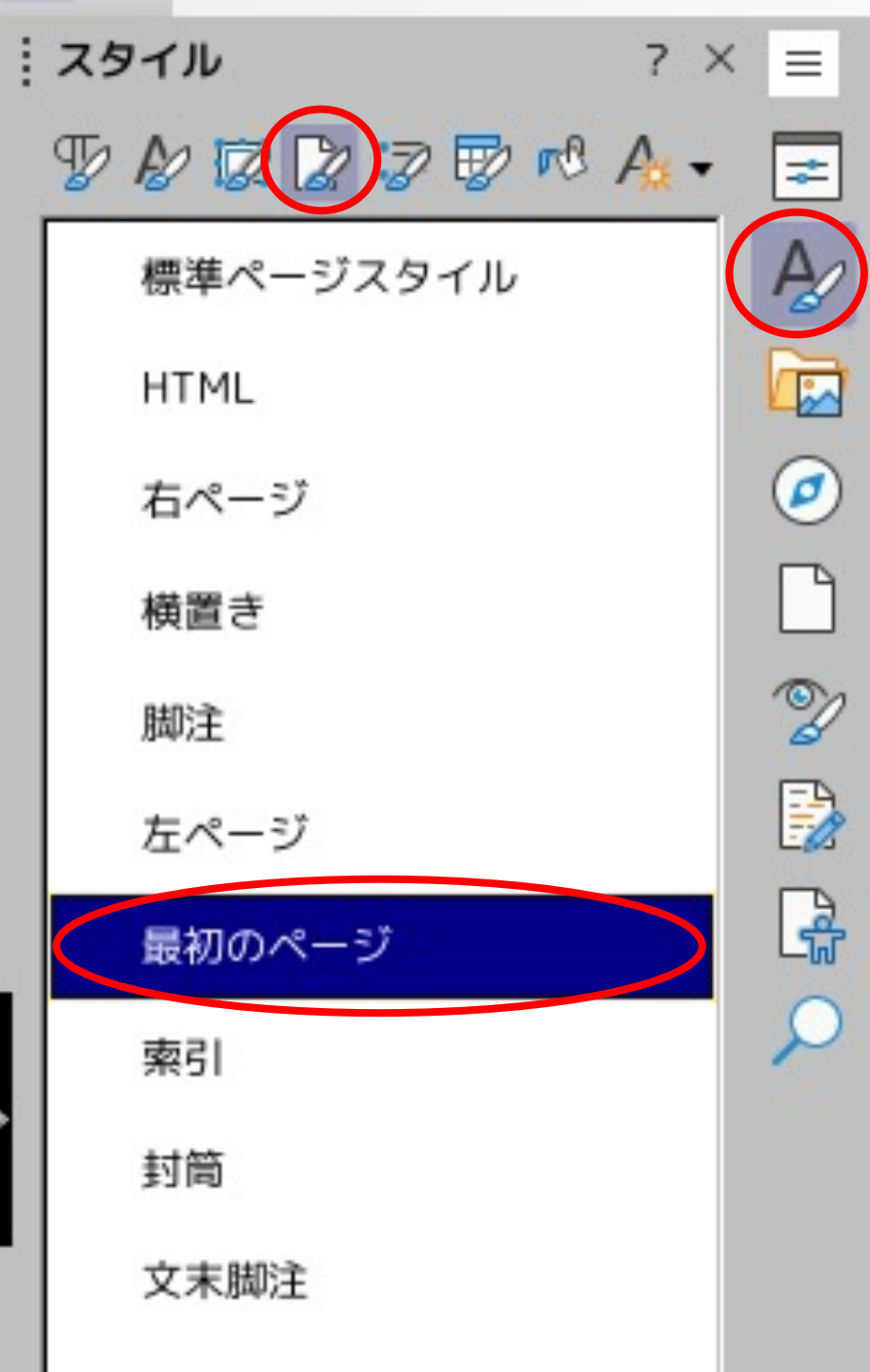
1. メニューバーの[挿入]→[目次と索引]→[目次、索引または参考文献]を選ぶ。
2. Titleに報告書タイトルを入力し、タイプを「目次」にしてOKを押す。



ページ番号の挿入

目次ページと本文でページ番号を分ける。

目次ページにカーソルを置き、[スタイルと書式]のページスタイルを選択し、スタイルを[最初のページ]に変更する。



ページ番号の挿入

1. フッターの挿入：メニューバーから[挿入]→[ヘッダーとフッター]→[フッター]→[標準ページスタイル]を選択する。
2. フィールドの挿入：メニューバーから[挿入]→[フィールド]→[ページ番号]でページ番号が挿入される。

今回の問い

- 章見出しに番号を付けるにはどのようにすれば良いか？
 - [ツール]→[章番号付け]を選択する。
- 目次はどのように作成するのか？
 - [挿入]→[目次と索引]→[目次、索引または参考文献]を選ぶ。
- ページ番号を挿入する操作方法は何か？
 - フッターを挿入した後、[挿入]→[フィールド]→[ページ番号]を選択する。

タイピング練習スケジュール

第5回	ホームポジション	
第6回	ホームポジション	
第7回	ローマ字	
第8回	ローマ字	
第9回	英語初級	
第10回	英語初級	
第11回	日本国憲法	(trr試験、合格スコア50)
第12回	日本国憲法	(trr試験、合格スコア50)
第13回	日本国憲法	(trr試験、合格スコア50)

タイピングの練習 (jsTRRの起動)

1. ブラウザを起動し、<https://www.koeki-prj.org/trr/>に繋ぐ。
2. 学籍番号（Cは大文字、省略なし8桁）を入力する。
3. Koeki MAILに届いたパスコードをPasscode: 欄に入力する。

ホームポジション

左手でタイプするキー

右手でタイプするキー



左手の人差指から小指までのホームポジション

両手の親指のホームポジション

右手の人差指から小指までのホームポジション

今回

第1回	4月13日	計算機の仕組みと基本操作・ネットワーク使用のモラル
第2回	4月20日	電子メール基本概念と操作方法・注意点
第3回	4月27日	電子メール操作と概念の確認
第4回	5月11日	文字入力とタイピング練習
第5回	5月18日	ワードプロセッサ 基本操作
第6回	5月25日	ワードプロセッサ スタイル・書式
第7回	6月 1日	ワードプロセッサ 図表・相互参照
第8回	6月 8日	ワードプロセッサ 成果確認
第9回	6月15日	Web技術 HTML 基本要素
第10回	6月22日	Web技術 HTML 箇条書・表・その他の要素
第11回	6月29日	Web技術 HTML CSS (ルールの表記法とプロパティ)
第12回	7月 6日	Web技術 CSS (classの利用・アクセシビリティ)
第13回	7月13日	総合課題作成

今回の目標

HTLMの基本要素について説明できる。

今回の問い

- URLとは何か？
- Webページを公開するには、サーバのどのディレクトリにhtmlファイルを保存すれば良いか？
- html文書の本文となる要素は何か？

Webページの例



JS
University
26
事前
申込制
日

■ **国際学部** ■

**2年次に全員が
英語圏に留学**

国際学部

中期留学費用の **最大45万円**

(短期留学の場合、最大30万円) を全員に助成

■ **国際学部** ■

**3つの
専門領域**

領域Ⅰ(英語学・文学)

領域Ⅱ(多文化理解)

領域Ⅲ(国際社会)

中学

OPEN CAMPUS
2026
事前
申込制

6/14、7/12、8/2

Webページの例

Yutaka Hirai

[HOME](#) [CV](#) [PUBLICATIONS](#) [PRESENTATIONS](#)

Galactic Archaeology with Simulations

I am a Junior Associate Professor at Koeki University, working on Galactic Archaeology. The primary focus of my studies is to understand the formation and evolution of the Milky Way and dwarf galaxies with high-resolution hydrodynamics simulations. Please get in touch with me ([yutaka.hirai \[at\] koeki-u.ac.jp](mailto:yutaka.hirai@koeki-u.ac.jp)) if you are interested in my projects!

今回学ぶこと

URLと通信プロトコル

Webページ作成の準備

入り口のWebページ作成

HTML基礎知識

今回学ぶこと

URLと通信プロトコル

Webページ作成の準備

入り口のWebページ作成

HTML基礎知識

URLと通信プロトコル

URL (Uniform Resource Locator):
インターネット上でWebページな
どの場所を表す住所

`http://roy.e.koeki-u.ac.jp/~c23456/`

スキーム名

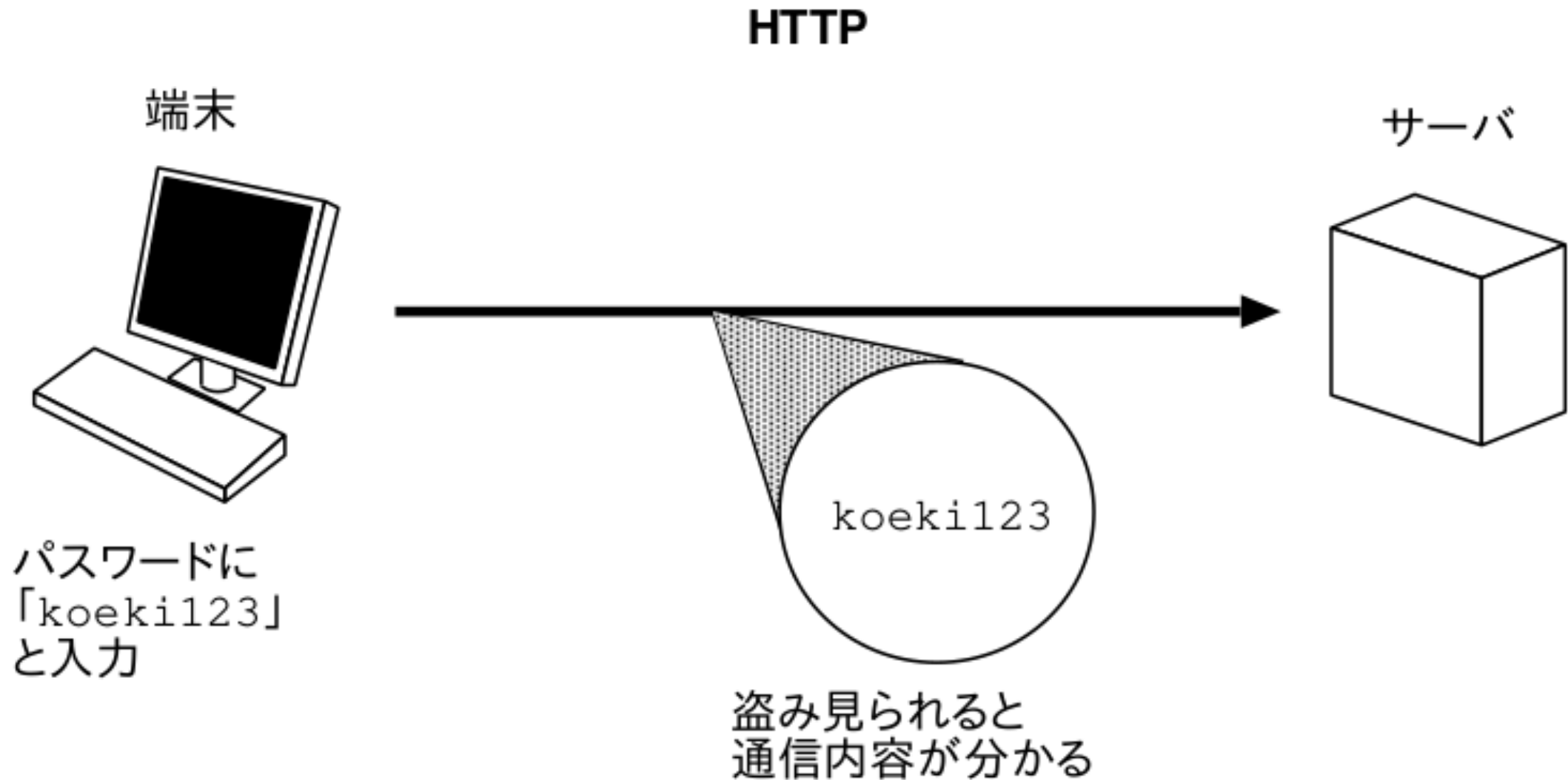
ドメイン名

パス名
(ディレクトリ名)

HTTP (Hypertext Transfer Protocol)

Webブラウザがサーバとメッセージやデータのやり取りをする際に使用する通信プロトコル（通信のための手順）の一つ

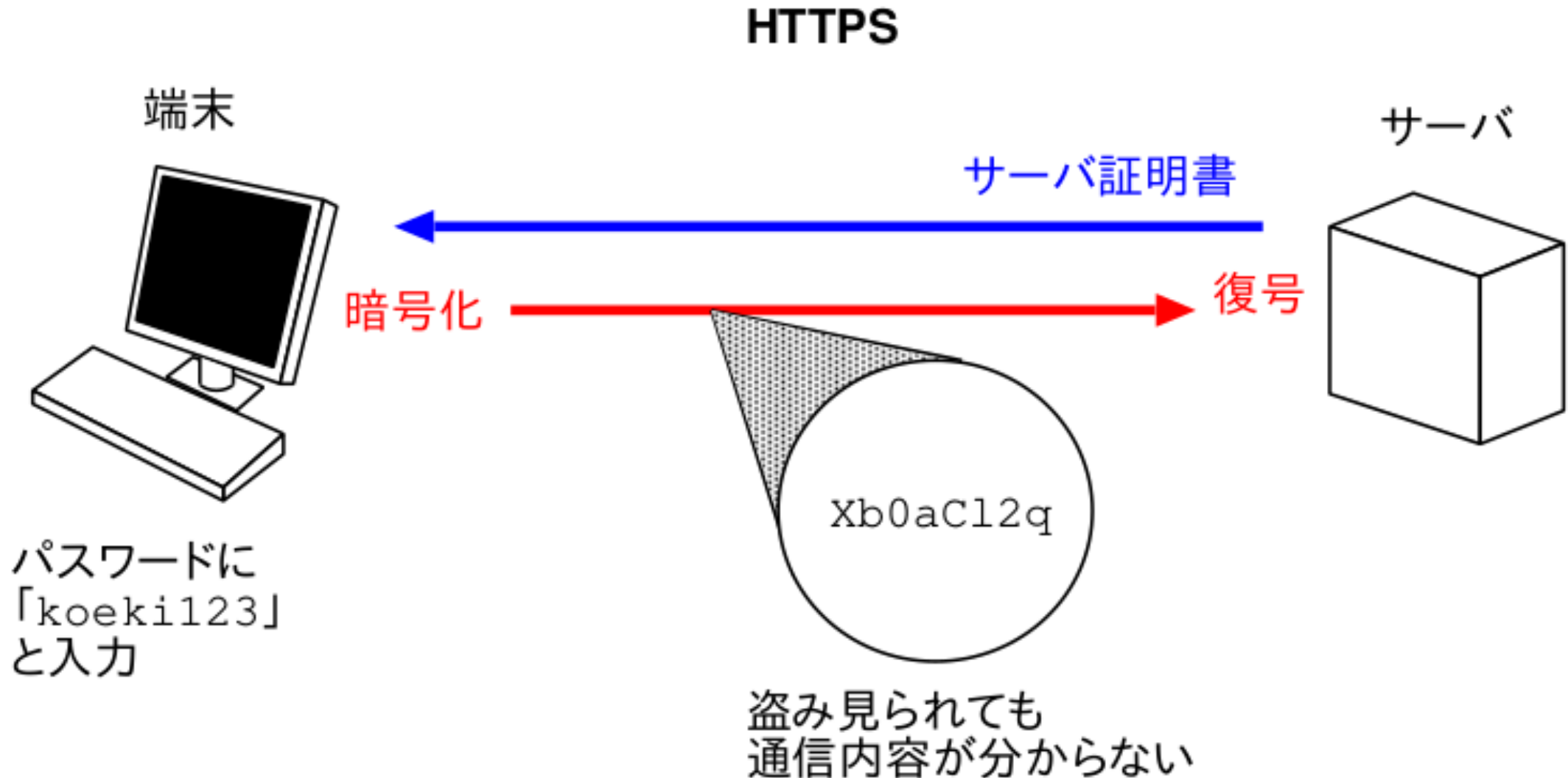
HTTP (Hypertext Transfer Protocol)



HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure)

SSL/TLSプロトコルを用いてHTTPの暗号化やサーバの認証を行う。

HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure)



HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure)

HTTPSでは、信頼できる**認証局**によって発行された**サーバ証明書**によってサーバの場所と運営者の信頼性を担保する。Webブラウザのアドレスバーに表示される**鍵マーク**で確認できる。



今回の問い

- URLとは何か？
 - インターネット上でWebページなどの場所を表す住所。
- Webページを公開するには、サーバのどのディレクトリにhtmlファイルを保存すれば良いか？
- html文書の本文となる要素は何か？

今日学ぶこと

URLと通信プロトコル

Webページ作成の準備

入り口のWebページ作成

HTML基礎知識

Webページ作成の準備

自分用のWebページを作成する。

大学のサーバroyで公開される自分用のWebページ
URL:

<http://roy.e.koeki-u.ac.jp/~ユーザ名/>

Webページ作成の準備

自分の書いたファイルを公開するには、ホームディレクトリにある**public_html**にファイルを置く。ホームディレクトリは「**~/**」、ホームディレクトリにあるpublic_htmlは「**~/public_html/**」で表す。

Webページ作成の準備

「~/public_html/」に作ったファイルは

<http://roy.e.koeki-u.ac.jp/~ユーザー名/ファイル名>

でアクセスできる。

Webページ作成の準備

「~/public_html/image/」というディレクトリを作り、その中にファイルを置いた場合は、

<http://roy.e.koeki-u.ac.jp/~ユーザ名/image/ファイル名>

でアクセスできる。

今日学ぶこと

URLと通信プロトコル

Webページ作成の準備

入り口のWebページ作成

HTML基礎知識

HTMLファイルの作成

「~/public_html」にindex.htmlという名前のファイルを作成する。

拡張子が.html (または.htm)のファイルをHTMLファイルをいう。

HTMLファイルの作成

HTMLファイルの作成はEmacsで行う。

Emacsで**Ctrl+x, Ctrl+f**と連続してキー操作し、「**Find File:**」の次に「**~/public_html/index.html**」と入力してEnterを押す。

```
U:----- *scratch*
```

```
Find file: ~/public_html/index.html
```

HTMLファイルの作成

ファイルを開いたら以下のように入力する（行番号は不要）。[氏名]には自分の氏名を入れよう。ただし、2行目の最初には半角スペースを5個入れること。

 index.html

1. [氏名]のホームページ
2. ゆっくりしてってね！

Emacsでの日本語入力：**Ctrl+o**

HTMLファイルの保存

Emacsで**Ctrl+x, Ctrl+s**と連続してキー操作し、ファイルを保存する。

Firefoxで確認

index.htmlを保存したらFirefoxのアドレスバーに次のURLを入力してファイルの内容が表示されるか確認してみよう。

<http://roy.e.koeki-u.ac.jp/~ユーザ名/index.html>

Firefoxで確認

以下のURLでもindex.htmlにアクセスできる。

<http://roy.e.koeki-u.ac.jp/~ユーザー名/>

URLにファイル名を書かない場合は、自動的にindex.htmlの内容が表示されるようになっている。

Firefoxで確認

先ほど作成したindex.htmlをFirefoxで表示させると、入力した通りの文章とは少し異なったものになる。

- 改行されない。
- 空白が5個も表示されない。

Firefoxで意図したように表示させるにはHTML文書の書き方に従わなくてはならない。

HTML文書の例

index.htmlを以下のように書き換えよう（番号は不要）。

 index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりして行ってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

入力したらemacsで
Ctrl+x, Ctrl+sとキー操作
してプログラムを保存し
、Firefoxで確認する。以
前のWebページを表示し
ている場合は、リロード
ボタンをクリックして再
読み込みすれば良い。

今回の問い

- URLとは何か？
 - インターネット上でWebページなどの場所を表す住所。
- Webページを公開するには、サーバのどのディレクトリにhtmlファイルを保存すれば良いか？
 - ~/public_html/に保存する。
- html文書の本文となる要素は何か？

今日学ぶこと

URLと通信プロトコル

Webページ作成の準備

入り口のWebページ作成

HTML基礎知識

HTML: Hyper Text Markup Language

HTMLファイルの中に書く文書を**HTML文書**という。様々なタグを埋め込むことでWebブラウザに対して視覚表現や文書構造を指示することができる。

HTML: Hyper Text Markup Language

HTMLは文書の論理構造を指示するための言語である。このような言語を一般的に**マークアップ言語**という。

DOCTYPE宣言

HTMLの仕様を宣言する。

```
<!DOCTYPE html>
```

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね!</p>
10. </body>
11. </html>
```

タグと要素

「<」と「>」で囲まれた中の単語をタグ名といい、「<タグ名>」もしくは「</タグ名>」をタグという。

タグと要素

「<タグ名>」を開始タグ、
「</タグ名>」を終了タグという。

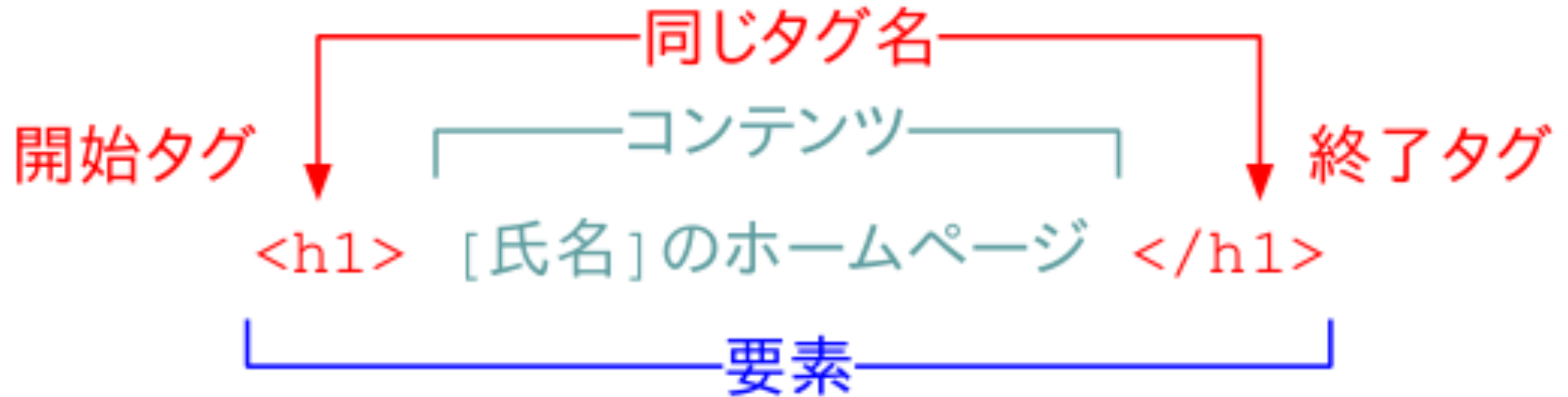
タグと要素

同じタグ名の開始タグから終了タグまでを**要素（エレメント）**という。タグは要素の開始と終了を区切るために使用される。

タグと要素

同じタグ名の開始タグから終了タグでは
含まれた部分をコンテンツという。

タグと要素



タグと要素

開始タグには空白で区切って複数の属性を入れることができる。

タグと要素

開始タグだけで終了タグのない要素を
空要素という。

タグと要素

開始タグしかない場合

タグ名



属性

<meta charset="UTF-8">

空要素

タグと要素

タグ名では大文字と小文字は区別されないが、同じHTML文書内ではどちらかに統一した方がよい。

タグと要素

開始タグと終了タグの間は改行してもしなくてもWebブラウザの表示で違いはない（pre要素を除く）。HTML文書が見やすいよう、適宜改行して構わない。

タグと要素

要素の中にはさらに要素を入れ子にすることができる。

タグと要素

html要素

└ head要素

└└ meta要素

└└└ title要素 "My Home Page"

└└ body要素

└└└ h1要素 "[氏名]のホームページ"

└└└└ p要素 "ゆっくりしていいね!"

要素

要素	タグ	意味	置ける場所	writerとの対応
html	<code><html>...</code> <code></html></code>	<u>HTML</u> 文書そのものの要素である。		
head	<code><head>...</code> <code></head></code>	<u>HTML</u> 文書のヘッダ情報の要素である。	html 要素内	
meta	<code><meta></code>	メタデータを属性に記述する要素である。終了タグのない空要素である。	head 要素内	
title	<code><title>...</code> <code></title></code>	<u>HTML</u> 文書のタイトル（表題）を示す要素である。	head 要素内	タイトル、表題
body	<code><body>...</code> <code></body></code>	<u>HTML</u> 文書の本文となる要素である。	html 要素内	本文
h1	<code><h1>...</h1></code>	もっとも大きな「見出し」を定義する。	body 要素内	見出し1
p	<code><p>...</p></code>	段落を示す要素である。	body 要素内	段落

html要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

「<html>」は「ここからHTML文書が始まる」ことを意味し、

「</html>」は「HTML文書はここまで」を意味する。

html要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

どのようなHTML文書も一つのhtml要素で作られる。

html要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

html要素の中には、
最初にhead要素、
その次にbody要素
の順番で構成される。

html要素

日本語文書の場合には、開始タグに「**lang="ja"**」という属性をつけておくと良い。

```
<html lang="ja">
```

head要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

ページのタイトルや説明文、使用するファイルのリンクなど、ページの情報を記述

meta要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

文字エンコーディングをUTF-8に指定。これが正しく表記されていないと文字化けすることがある。

title要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

HTML文書のタイトルを記述する。Webブラウザでは、タイトルは本文中には表示されず、ウィンドウの上方のタイトルバーに表示される。

title要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

title要素はhead要素内に1つだけ置くことができる。

title要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

レポート等の参考文献に載せるWebページのタイトルにはこのtitle要素のコンテンツを記述するので、title要素は必ず記述する。

body要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

HTML要素の本文を記述する。

見出し要素（h1要素からh6要素）

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

見出し要素は**h1要素**から**h6要素**まで
6段階のレベルがある。

見出し要素（h1要素からh6要素）

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

見出し要素はbody要素内に置くことができる。

見出し要素（h1要素からh6要素）

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

どのようなHTML文書でも必ず1つのh1要素は持つべき。分かりやすい文書にするには、見出しでトピックを区切って書く。

見出し要素（h1要素からh6要素）

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

h1の下レベルの見出しにh2、h2の下レベルの見出しにh3を使う。

見出し要素（h1要素からh6要素）

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

h1要素が「章」、
h2要素が「節」、
h3要素が「小節」
に対応していると思
えば良い。

見出し要素（h1要素からh6要素）

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

LibreOffice Writerのように章番号を自動でつけることはできないが、フォントの種類や飾りなどはある程度変えることができる。

p要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

p要素は段落を示す要素（パラグラフ要素）である。

p要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

p要素はbody要素
内に置くことができる。

p要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

「<p>」 「</p>」ではさむことで、どこからどこまでが段落かがすぐに分かるようになる。「</p>」では自動的に改行される。

p要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

HTML文書で改行していても、Webブラウザの表示では改行とみなされないのが一般的。

p要素

index.html

```
1. <!DOCTYPE html>
2. <html lang="ja">
3. <head>
4. <meta charset="UTF-8">
5. <title>My Home Page</title>
6. </head>
7. <body>
8. <h1>[氏名]のホームページ</h1>
9. <p>ゆっくりしてってね！</p>
10. </body>
11. </html>
```

改行するためのbr要素「
」もあるが、p要素を使った方が明示的に段落として扱えるので、通常の文章ではp要素を使うのが良い。

今回の問い

- URLとは何か？
 - インターネット上でWebページなどの場所を表す住所。
- Webページを公開するには、サーバのどのディレクトリにhtmlファイルを保存すれば良いか？
 - ~/public_html/に保存する。
- **html文書の本文となる要素は何か？**
 - **body要素。**

今回の目標

HTLMの基本要素について説明できる。

今回学んだこと

URLと通信プロトコル

Webページ作成の準備

入り口のWebページ作成

HTML基礎知識

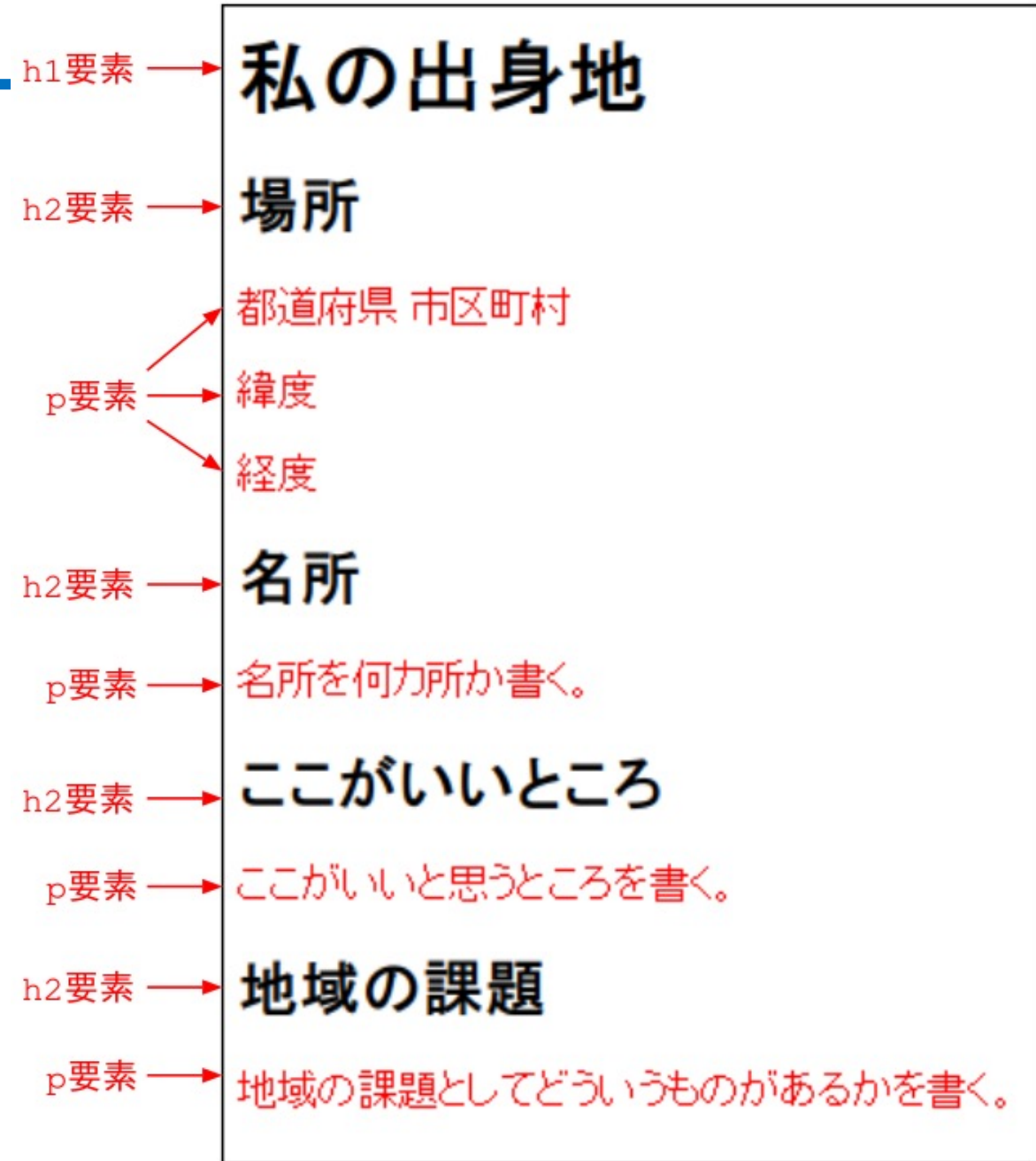
課題

hometown.htmlというファイル名で右のように自分の出身地を紹介するWebページを作成し、Koeki MAILでURLを送る。メール本文には、宛名、今日の授業内容で重要だと考えた点、今日の授業内容でよく理解できなかった点、疑問に思った点、Trr「英語初級」スコア、署名を記述する。

件名：情報リテラシー第9回の課題
[学籍番号]

提出先：yutaka.hirai@koeki-u.ac.jp

締め切り：6月19日(金)



次回

第1回	4月13日	計算機の仕組みと基本操作・ネットワーク使用のモラル
第2回	4月20日	電子メール基本概念と操作方法・注意点
第3回	4月27日	電子メール操作と概念の確認
第4回	5月11日	文字入力とタイピング練習
第5回	5月18日	ワードプロセッサ 基本操作
第6回	5月25日	ワードプロセッサ スタイル・書式
第7回	6月 1日	ワードプロセッサ 図表・相互参照
第8回	6月 8日	ワードプロセッサ 成果確認
第9回	6月15日	Web技術 HTML 基本要素
第10回	6月22日	Web技術 HTML 箇条書・表・その他の要素
第11回	6月29日	Web技術 HTML CSS (ルールの表記法とプロパティ)
第12回	7月 6日	Web技術 CSS (classの利用・アクセシビリティ)
第13回	7月13日	総合課題作成